





第 66 回東洋書芸展

当会関係出品者

左上より右に

上段

- ・宮部北晴・宮澤星河
- ・青木清華・小野寺北華

中段

- ・浅沼北翠・千葉梅流
- ・鈴木清香・鈴木青鳥

下段

- ・村上斐・今村北州
- ・大脇州山（敬称略）

# アンデパンダン展

## Salon des indépendants

アンデパンダン展(アンデパンダンてん、Salon des indépendants)は、無審査・無賞・自由出品を原則とする美術展であり、1884年にフランスのパリで初めて開催され、その後、世界中に広がった。各国にも影響を与えており、パリの同展の形態を理想とした、別組織による同じアンデパンダンの名を冠した独自の展覧会が日本など世界各国で開催されるようになった。現在は、それら他国の展覧会と区別するため、パリのアンデパンダン展についてはパリ・アンデパンダン展と表記されている。パリ・アンデパンダン展は、現在世界中で開催されている諸派の垣根を越えたアーティスト達によって行われる無審査大型展としては最も早く誕生した歴史的な美術展覧会。



アンデパンダン展当会関係出品者

左より右に

上段 ・ 吉田翠晴・鈴木奎晴・森下映沙・鈴木清香・宮部北晴  
下段 ・ 淵脇晴花・村上文晴・土橋香晴・青木清華 (敬称略)

第 66 回東洋書芸展が令和 2 年 10 月 16 日~22 日上野の東京都美術館第 4 公募展示室ギャラリーに於いて開催されました。



表彰式はコロナ過にもかかわらず、10月21日上野公園内の精養軒に於いて来賓、会員約70名が出席する中、10名の円卓席を半分に制限しての開催でした。都美術の他の公募展示室は書芸展を除きほとんどが中止の状況でございました。



第66回展上位受賞作品

左より右に・読売新聞社賞・準書芸大賞・書芸大賞・準書芸大賞・読売新聞社賞の各作品です。